



小規模多機能ここさいむら青山
青山拠点統括マネージャー
管理者／課長

坂野 智之

小規模多機能ここさいむら青山で、管理者として現場業務に携わりながら、青山拠点統括の任にも就いている課長の坂野智之。これまで多くの業務で勤務しながら経験を積んできた坂野は、ときに重大な問題に直面する現場もあった。今までで最も記憶に残る出来事と、そこから学び、社内の皆に伝えたいことを聞いた。

大変さに勝る やりがいに見かれて

前職でも介護業界に身を置いていた坂野は、父親の遺気をきつかけに東京から地元の仙台に移ってきたという。インターネットで仕事を探したところ、ここみケアがここさいむら小田原のオープンニングスタッフを募集していることを知った。前職ではグループホームの立ち上げに携わり、管理者としての経験と実績があった坂野。立ち上げの大変さは身をもって知っていたが、ゼロからすべてを作りあげる面白さを思い返し、2014年にここみケアの一員となった。

楽しみながら成長を

入社後はこれまでの経験を活かしてスムーズに現場業務に就けたものの、土壌がなかったために周囲に迷惑をかけてしまう場面もあった。また、ショートステイに携わるのは初めてで、多くの人の助けがあったから続けてこられたと感謝している。利用者が入れ替わり立ち代わりするショートステイ。短期間で何百人という人数と接する大変さがあったが、たくさんの方の利用者と関わり合う楽しさもある。何より「必要とされている」と実感を持っていることに、大きなやりがいを感じていた。

半年から1年の間で異動を続け、認知症対応型デイサービスや2か所のショートステイを経験したのち、小規模多機能ここさいむら青山での勤務となる。異動する度に勤務場所も勤務形態も異なる仕事を経験でき、新鮮さを味わいながら自身も成長していった。

協力的体制の大切さを知る

小規模多機能ここさいむら青山は、デイサービスとショートステイ

イ、訪問介護を組み合わせたサービスを提供しており、ときには利用者に身寄りがいないといった、困難な事例が発生する場合もある。医療機関や行政機関と連携を取りながらの対応が必要となり、大変さは増すものの、利用者の役に立てていると感じられ、それがモチベーションにつながった。

坂野の記憶に残る出来事は、天涯孤独の利用者に後見人を付けた事例だ。坂野が関わり始めた頃には軽度だった認知症が、あるとき急激に悪化し、後見人を付ける必要に迫られたのだ。後見人を付ける手続きに携わるのは2度目。す



ぐにでも見つけたいと勉強しながら対応にあたる一方、面談や書類作成などの手続きが思うように進まない状況に不安を覚えていた。万が一後見人が付く前に利用者の身に何かあっても、同意がなければ手術を受けることができない。また、老人ホームに入所するためにも保証人が必要だ。

「何も起こらないでくれ」。

そう祈りつつ手続きを進め、約1年かけて後見人を付けることに成功。職員や行政機関の担当者との喜びを分かち合った。老人ホームへ入所し、安定した生活を送れるようになった利用者を見て、家族や後見人の協力は必要不可欠だと改めて実感したという。

事故事例から学ぶ

これまで多くの経験をしてきたなかで、坂野にとつて忘れられない重大な事例がある。ここさむら青山で要介護度5の利用者が窒息して、救急搬送された事故だ。原因は、食事の形態を利用者に合わせなかったことだった。幸いにも意識が戻り、重大な障害も残らず、家族からは「これまでとても



お世話になり、誰も責めるつもりはない」と言ってもらえた。

利用者の刻一刻と変化する状況を把握するために、そして、利用者本位のサービスを提供しながらも、最大限のリスクを回避し安心安全のサービスが提供できるように、管理者やケアマネージャーなどと連携し、皆で事故を予防していく体制を迅速に作る必要があると語る。

仕事は、楽しむもの

今後はこれまでに経験したこと

のない業務に、積極的にチャレンジしていきたいという目標を持つ。「仕事は楽しくなければ意味がない」を持論に、どんな仕事に対しても常にプラス思考で高いモチベーションを保ちながら取り組み、スキルアップしていきたいと考えている。

自身の信念を胸に歩み続ける、坂野のこれからの活躍が楽しみだ。



坂野課長ってどんな人？

今回は坂野課長の魅力を深掘り！
仕事ができ、社員の皆さんに優しい一面のみならず、
「パパ」としての側面もあるようで……？

Q1. 坂野課長を一言で表すと？

全力全開！

Q2. 坂野課長の「すごいところ」を教えてください！

記憶力がすごい！特に、お客様のことに関してはピカイチです！何年前の出来事でも昨日のことのように話しておりビビります！

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

子どもの年齢が同じということもあり、子育てや子どもあるあるのお話で盛り上がるがあります。会社では管理者として、家ではパパとして奮闘されているのだなと勝手にしみじみ感じています。



ここさいむらいろは
あべ
阿部 ひとみさん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

いつも事務所が楽しいのは、坂野さんの面白いコメントと鋭いツッコミのおかげです！これからもすてきな職場のために、坂野さんに期待大です！よろしく！

Q1. 坂野課長を一言で表すと？

息子LOVEパパ！

小規模多機能
ここさいむら青山
主任

わかい けいご
和賀井 啓悟さん

Q2. 坂野課長の「すごいところ」を教えてください！

緊急事態などにも落ち着いて柔軟に対応できるところ。
(夜間でもおかまいなし)

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

不甲斐ない主任をいつもフォロー・指導していただきありがとうございます！これからもたくさんご迷惑をおかけするかと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

普段の業務中でもたくさんお世話になっていますが、僕が交通事故を起こしてしまった際には励ましていただいたり、親身になっていろいろ相談させてもらったりしました。

Q1. 坂野課長を一言で表すと？

優しいイメージ

Q2. 坂野課長の「すごいところ」を教えてください！

まずは話をきちんと聞いてくれる。そのことに関してのアドバイスや的確な指示は仕事をする上でありがたいと感じています。

Q3. 思い出エピソードを教えてください！

何も知らない私にたくさんサポートをしてくださいました。サービスや事務的な仕事も、ゼロスタートでしたが細やかに教えていただきました。



ここさいむらいろは
管理者/係長代理
わたなべ たくや
渡邊 拓也さん

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

いつもありがとうございます。引き続き、青山拠点を担う存在として一緒に頑張らせてください。よろしくお願いいたします。



笑顔を作る

賞賛・承認大作戦

通信
vol. 6

皆さんの投稿・投票によって行っているこの企画！
今回は看護小規模多機能ここさいむら小田原で行われた「母の日&新緑ドライブ」イベントの様子をお届け！「利用者様の笑顔のために」と企画を考案した佐々木さんにもお話を伺いました。

新緑ドライブ & 母の日

看多機では5月に新緑ドライブと母の日のイベントを行いました！

5月8日、9日は定禅寺通りまで新緑ドライブ。「きれいだね」「トンネルみたい」「久しぶりにこっちにきた」と花や街並みを楽しまれておりました。

新緑ドライブ



母の日



5月13日は1日早い母の日を。日頃の感謝の気持ちを込め、女性利用者様にカーネーションをプレゼント。手作りおやつと共に喜んでいただけました。



スタッフの皆さん
ご協力ありがとうございました！

投稿者



看護小規模多機能
ここさいむら小田原
介護福祉士

ささき ももこ
佐々木 桃子さん

投稿日：2023.5.31

＼佐々木さんに投稿内容について詳しく教えてもらいました！／

今回の企画について、工夫した点など詳細を教えてください！

新緑ドライブ

個人では前の事業所では実施したことがありますが、看多機で新緑のドライブというのは初めての取り組みでした！

高齢者の方々は外出が難しいこともあり、「ドライブなど外に行く機会があれば」と思い企画！外に出ると職員の目線では事故や転倒が気になってしまいますが、「きれいな新緑を見てもらいたい！」という思いで、職員の皆さんにも協力してもらい、定禅寺通りのグリーンベルトへ行きました！

母の日

普段感謝の気持ちを伝えてはいるものの、改めて感謝の気持ちを伝えたい！また、今でも皆さん「母」でいらっしゃるのので、昔のことも思い出していただきたい、そんな思いから考えた企画です。

本当は翌日が母の日でしたが、女性の利用者様が多いのが土曜日だったため、前倒し実施。普段生花をもらう機会も少ないと思いますが、生花を手にした利用者様は笑顔いっぱいでした。おやつのおもちのムースは利用者様にも協力いただき手作り！前日にムース部分を作り、当日ホイップ部分を飾り付けしました。

実際にやってみた感想を教えてください

特に認知症の方は、時間が経つと翌日には忘れてしまうこともあるかもしれませんが、その瞬間は皆さん笑顔で、喜んでいただけて、「この瞬間」を大事にしたいと思いました！

一緒に働く皆さんへメッセージ

企画を実施するときには、他のスタッフの皆さんが普段の担当業務を引き受けてくれたり、その場にいるスタッフも企画を盛り上げてくれたりといつも感謝しています！いつもありがとうございます！

私の事業所のココが自慢!

認知症に特化した専門性の高いサービスを、常に笑顔で行っているここさいむら泉中央の皆さん。利用者様に心から寄り添う姿が本当に頼もしい!ぜひご覧ください!



私が紹介
します!

ここさいむら泉中央
管理者/係長代理
あべ かずのり
阿部 和範さん

01 「ここさいむら泉中央」 ってこんなところ!

明るく賑やか!

地域密着の認知症対応型のデイサービスを行っています。基本的に仙台市内在住の認知症と診断された方が通所できる施設です。日帰り利用がメインで、事前の予約やご相談次第で1日に数名に限り宿泊する方も。業務内容は朝夕の送迎、入浴やトイレの援助など。また、軽体操やボール体操、職員が工夫を凝らした脳トレやレクリエーションなどを行うことで、認知機能や心身機能の維持向上を図れるように努めています。登録利用者様は約40名で、1日に14~15名が通所。職員は常勤、パートなど合わせて17名で、10~50代と幅広い年齢層。女性が6~7割を占めます。業務は1日あたり夜勤の1名を含む8~9名で対応しています。雰囲気はとにかく明るく、賑やか。お話し好きな方が多く、職員は皆、柔らかい雰囲気で常に利用者様に寄り添っています。



02 ココが自慢!

利用者様に寄り添う

新人の職員も、ベテランの職員もいつも笑顔で利用者様に寄り添うところです。認知症の方はそわそわして落ち着かなかったり、ちょっとした一言で気分が変わったりと、とてもデリケート。その一人ひとりに職員がそばで熱心に話を聞くのをよく目にします。職員のなかには介護未経験の新人職員もいて、ベテラン職員がしっかりサポート。全員が利用者様に対しても他の職員に対しても常に目配りを欠かしていません。

03 「他事業所には負けなし!」 という魅力

「誰にでも何でもわからないことを聞けるので とても安心」

ずばり「働きやすさ」です。新人職員からは「誰にでも何でもわからないことを聞けるのでとても安心で、働きやすいですね」という言葉をもらいました。ベテラン職員同士、聞かれたところにしっかり応えていく、大事に育てていくという意識を共有。新人職員には必ず「わからないことだったら何でもいいので聞いてね」と伝えています。利用者様の介助方法も人それぞれなので、わからないままでは一番危険性が高い!説明を聞いて、メモをして、覚えるよう指導しています。



04 今後の目標

信頼されるデイサービスのために……

専門性の高さが求められるので、よりよいサービスを提供できるよう、職員のレベルアップ、スキルアップを図っていきます。引き続き月に1回の法定研修、そのほかに認知症やヒヤリハット研修も行っています。スキルアップ、レベルアップによって利用者様、ご家族の皆さん、ケアマネージャーの皆さんに信頼されるデイサービスを作っていきます。

05 一緒に働く 皆さんのメッセージ

いつも利用者様に寄り添ってくれてありがとうございます。迷ったとき、悩んだとき、落ち込んだとき、自分のなかに溜めずにいつでも相談してください。一緒に進んでいきましょう。これからもよろしくお願いたします。



七夕企画

星に願いを

織姫と彦星が、年に一度だけ天の川で出会える日とされている七夕。あなたも、夜空に光る星に、そっと願いを込めてみてはいかがでしょうか。今回は5名の方に、それぞれの願いを紹介してもらいました！

新高校生の息子が、学業、部活と精一杯頑張れますように

息子は小学3年〜中学校まで野球に励んでいました。私もお父さん審判で試合に参加し、毎回ドキドキのジャッチで、一緒に歩んできました。高校では、珍しい水球部に入りました。泳ぎながらボールを奪い合う激しい球技ですが、水球女子もいることには驚きました。



フオルテテイサービス
藤巻 剛さん

息子の野球部が全国制覇できますように

4月から中学生になった息子。日々、昭和のような練習にも耐え、全国制覇を目指しています。息子の喜びと幸せは、私を幸せにしてくれます。親子の時間は、野球一筋「一球入魂」です。願いが叶ったら、今以上に全力応援したいと思います。



ここみ訪問マツサージ仙台
大森 公美子さん

2023年、残り半年も健康に過ごせますように

2022年は年末に体調を崩してしまい、お休みをいただいたので、今年はそのようなことがないように、健康管理に努めたいと思っています。



グループホーム
ここさいむら青葉
戸田 良輝さん

実家のワンちゃんが健康で過ごせますように

今年の5月で3歳になりました。体調が悪かったり、食欲がなかったりしたことがあり、心配しました。実家に帰ったときは広い公園でお散歩したり、ボールで遊んで一緒に過ごしたりしたいと思います。



シヨートステイ
ここさいむら小田原
相沢 流聖さん

庭の苺が収穫できるように、大きく育ちますように

新居で庭ができたので、3歳の娘の希望により苺を育てることになりました。毎日観察しながら、新しい発見があるたび、娘から報告を受けるようになり、母と娘の成長が共に楽しめる状況になりました(笑)。苺が収穫できるようにになったら種類を増やし、規模を大きくしていこうかと思えます！



訪問看護ステーションsora
千葉 研一朗さん